家畜衛生情報 No.11

(施行日) 平成30年3月



★三八地域県民局地域農林水産部八戸家畜保健衛生所

★三八畜産衛生協議会

馬鼻肺炎の発生予防対策を 徹底しましょう!

三八地域で馬鼻肺炎が発生しました。県内での発生は平成22年 以来7年ぶりとなります。馬鼻肺炎による流産は12月から4月に かけて発生しやすい時期となるので、以下の点に留意し、発生予防 対策の徹底をお願いします。

予防するために

- ① 妊娠馬(特に妊娠後期)にストレスを与え ないような飼養管理を心がけましょう。
- ② 妊娠馬は育成馬やあがり馬とは隔離 して飼養しましょう。
- ③ ワクチン接種を徹底しましょう。

: 妊娠6~7か月 2回目: 妊娠7~8か月

3回目以降: 1~2か月ごとの補強接種

④ 日頃から厩舎や器具等の清掃・消毒を心がけましょう。



伝染病が疑われる流産が発生したら

本病発生の可能性を想定し、速やかに次の対応をして下さい。

- 獣医師又は家畜保健衛生所に連絡してください。
- ② 流産した馬は隔離し、胎盤・羊水等に他の馬が接触しないようにし、 器具等とともに速やかに消毒してください。作業員の手指、作業靴、 衣服、手袋なども充分消毒して感染の拡大防止に努めてください。

三八地域県民局地域農林水産部 八戸家畜保健衛生所 TEL:0178-27-7415 FAX:0178-27-7418 日祝祭日の場合は、 家保携帯 090-7069-7714